

吾妻山砂防通信

第4号



土湯源泉の間欠泉

とこがため



松川遊砂地第2床固工事はここまで進んでいます！



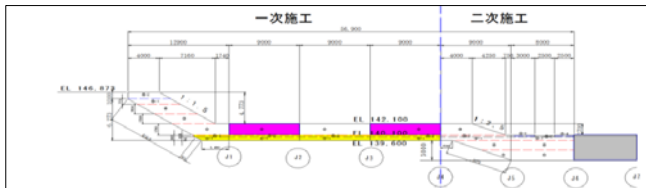
施工業者 : (株)小野工業所 TEL591-1001
施工場所 : 長老橋(フルーツライン)上流・・・吾妻山砂防通信第2号で紹介しました。
工期 : 平成21年3月28日～平成21年11月30日
現場代理人 : 佐々木 誠 「7月に入り梅雨時期の施工となりますので、施工中の河川増水等による被害に細心の注意を図り、職員及び作業員全員で協力し、無事故・無災害を目標に工事完成を目指したいと思います。」
概要 : 遊砂地とは、洪水時に上流から流れてくる土石流(※)を谷出口付近において堆積(溜める)させる空間を確保する施設(川幅を広げたり、土砂を堆積させるための構造をもつ施設)のことを言います。
遊砂地を設けることで、洪水時には、流出土砂を一時的に溜めることができるため、下流域の土砂災害を防止する効果があります。

(※) 土石流 : 大きな岩や礫(れき)及び土砂が水と一緒に泥流となって流れてくること

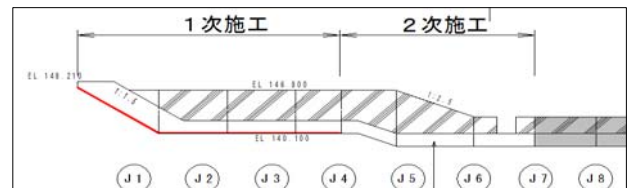
垂直壁

工事の進捗状況

本堤



正面図



状況写真



・垂直壁の掘削が完了し、本体1リフト目のコンクリート打設が終わり2リフト目の残存型枠組立を施工しています。



・本堤の掘削も方針が決まりバックホウで掘削が開始されました。

松川砂防学習室についてお知らせします

8月14日(金)はお休みします



夏のイベント情報



～土湯温泉源泉で土石流模型実験～

8月1日(土)に、土湯温泉町の土湯温泉源泉(普段は入れません!)にて土石流模型実験を実施します。土湯温泉のイベント「土湯温泉秘密探検ツアー」との同時開催です。

土石流模型実験は、土石流が発生しやすい角度をつけた模型に水と土砂を流し砂防ダムの役割・効果と土石流災害の恐ろしさを学んでいただくものです。

源泉近くには荒川第7・8砂防堰堤があります。そして実験を見ていただくことで防災意識をより高めていただけたらと考えております。

皆様ぜひご参加ください。



昨年の土石流模型実験の様子です。

土石流模型実験時間

10:00～10:30、11:00～11:30

そのほか、マイナスイオン測定や温泉噴気でまんじゅうやサツマイモを蒸したり、温泉卵を作ったりするようですよ...

お申し込み・お問い合わせは
NPO法人土湯温泉観光まちづくり協議会
(024-595-2217)



土湯温泉の源泉

温泉街から約2km、荒川の源流沿いに土湯温泉の源泉があります。普段は門が閉まっており一般の方は入る事ができません。門を抜け奥へ進んでいくと、地面のいたるところから源泉が勢いよく噴き出しています。温泉は毎分約1,800リットル 24時間絶え間なく温泉街に送られているそうです。

この機会にぜひ源泉を見学してみたいかでしょうか。



門の中はどうなっているのかな?

夏休み前の安全利用点検

荒川・松川流域の皆さんに身近な砂防施設の点検を8月8・9日に行いました。

点検の目的は、施設で壊れてる箇所、危険な箇所がないかをくまなく点検し、夏休みに向けて皆さんに施設を安心安全に利用してもらえるように実施しているものです。

今回点検の結果、異常はありませんでした。

お問い合わせはこちら

(ご意見・ご感想・砂防に関すること)

国土交通省 福島河川国道事務所
吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156
福島県福島市荒井字地藏原甲2-14
TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261
福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL 024-591-1207

H P <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

